

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報
2025年 第28週 (2025年7月7日～7月13日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

*管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

【定点把握対象疾患】* 定点医療機関・COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

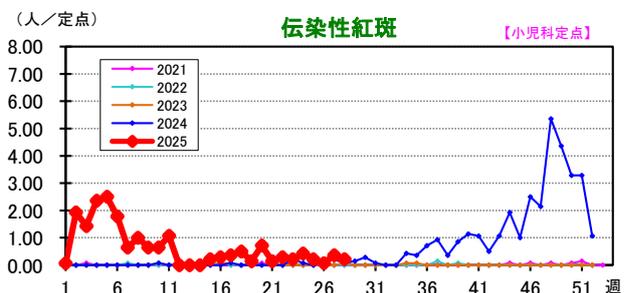
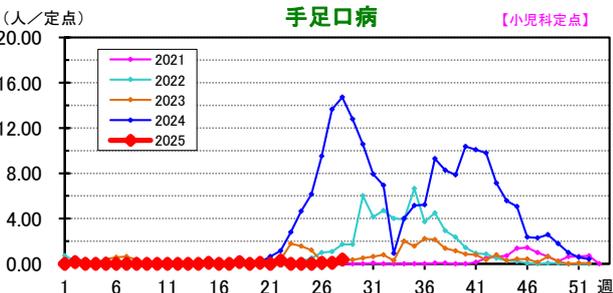
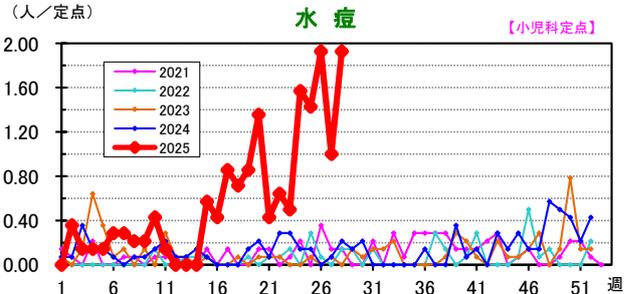
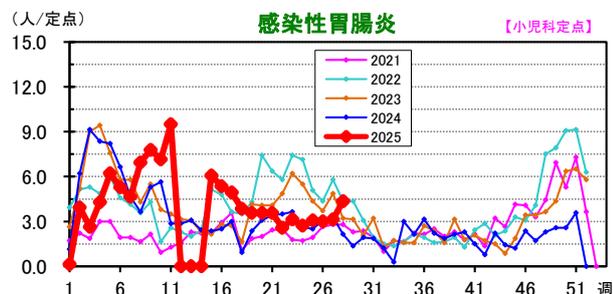
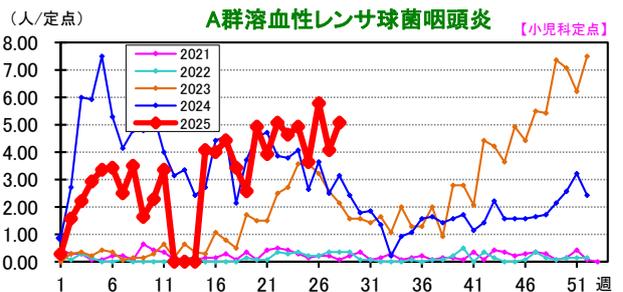
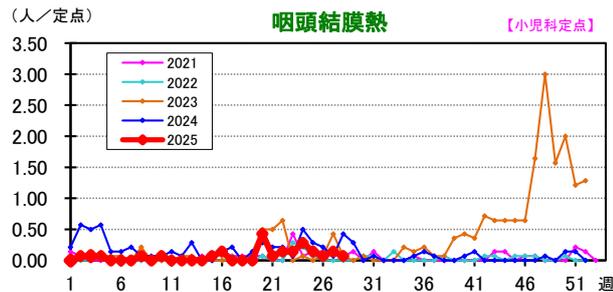
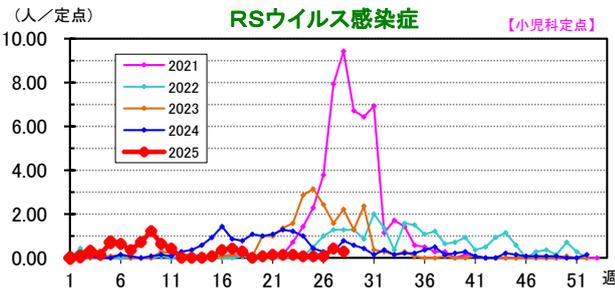
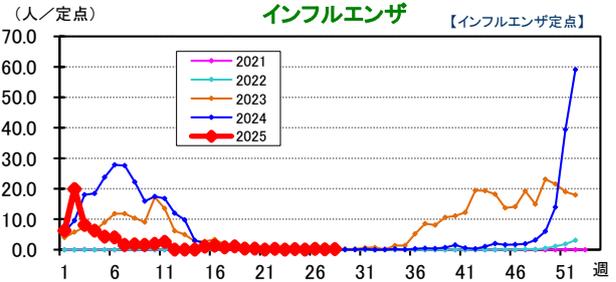
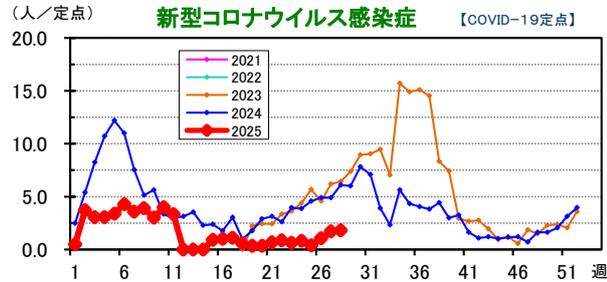
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が5.07と先週より増加しています。今後の動向に注意が必要です。

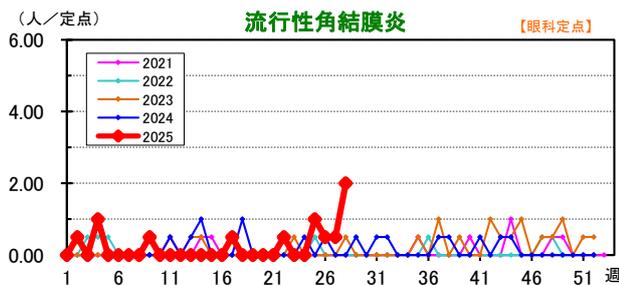
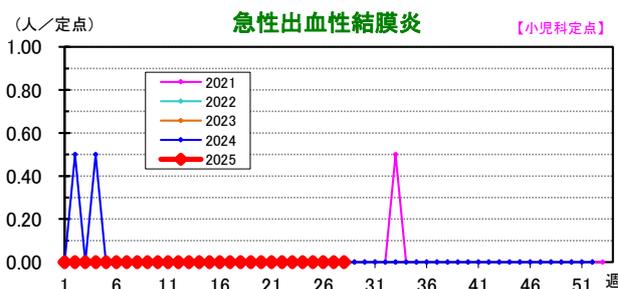
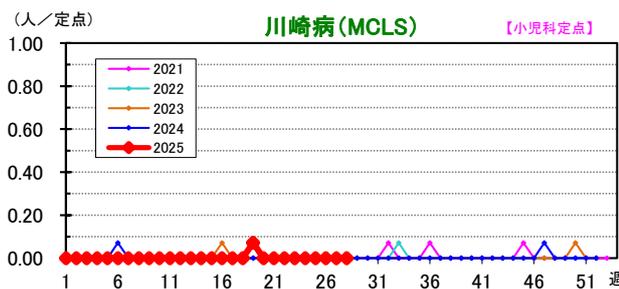
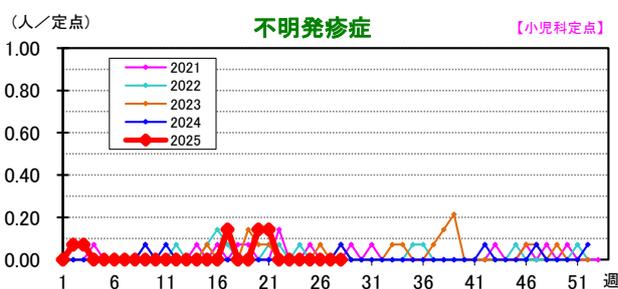
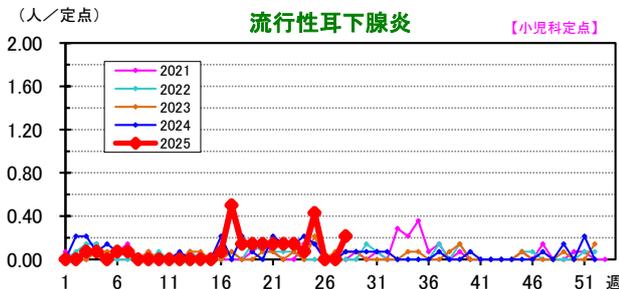
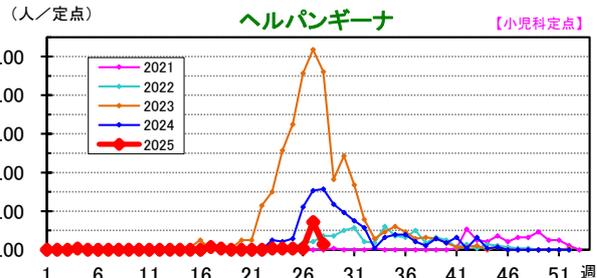
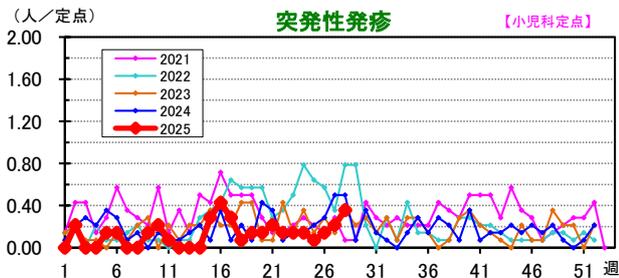
・感染性胃腸炎の定点当たり報告数が4.36と先週より増加しています。今後の動向に注意が必要です。

・水痘の定点当たり報告数が1.93と先週より増加しています。今後の動向に注意が必要です。

【感染症集団発生状況(新規)】

・感染性胃腸炎1件(保育所)の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
 東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

*** 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)**

疾病	2025								1週からの報告累計数
	25週		26週		27週		28週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	8	0.38	22	1.05	36	1.71	38	1.81	1120
インフルエンザ	1	0.05	5	0.24	2	0.10	4	0.19	1434
RSウイルス感染症	1	0.07	1	0.07	6	0.43	4	0.29	118
急性呼吸器感染症(ARI)	755	35.95	784	37.33	829	39.48	843	40.14	11111
咽頭結膜熱	2	0.14	1	0.07	2	0.14	1	0.07	31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	3.64	81	5.79	57	4.07	71	5.07	1307
感染性胃腸炎	43	3.07	42	3.00	44	3.14	61	4.36	1794
水痘	20	1.43	27	1.93	14	1.00	27	1.93	244
手足口病	0	0.00	1	0.07	1	0.07	5	0.36	22
伝染性紅斑	3	0.21	1	0.07	5	0.36	3	0.21	272
突発性発疹	1	0.07	2	0.14	3	0.21	5	0.36	59
ヘルパンギーナ	1	0.07	1	0.07	20	1.43	4	0.29	33
流行性耳下腺炎	6	0.43	0	0.00	0	0.00	3	0.21	38
不明発疹症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	2	0.10	1	0.05	1	0.05	4	0.19	15

ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルスA群が主な原因となるウイルス性咽頭炎の一種で、5月～8月にかけて多く発症する夏風邪として代表的な病気です。主な症状は、突然の高熱(38.5～40℃)が3日前後続きます。また、喉の奥に強い痛みを伴う水疱ができ、潰瘍になります。喉の痛みから水分の摂取が困難となり、脱水症になることもあります。ごくまれに無菌性髄膜炎や脳炎、急性心筋炎を合併することがあります。感染者の咳や鼻水等の飛沫や、便中のウイルスが原因で感染します。感染者と密接な接触は避け、うがいや手洗いをし、予防しましょう。

東京都子ども医療ガイド ヘルパンギーナ